

2年学年だより

大淀中学校 2年 平成29年10月18日 第26号

!(^~)!『虹を渡って』

文化祭の演劇のラストに合唱する『虹を渡って』・・・。

音楽の時間に『虹を渡って』を合唱するにあたっての気持ちを書きましたね。その中に、ネガティブな考えが見られました。

学年として、ひとつのハーモニーを創りだす前に、なんとか気持ちを変化させてもらえないかという思いで、本人と話をしました。

本人曰く、『虹』のような物質を渡ることはできないので、歌詞がナンセンスだとのこと。国語の時間の「詩」の学習でも述べましたが、詩は短い言葉で作者の思いを表現するものですから、ことばを厳選し表記や改行にも工夫するとともに、象徴的な表現を用いる。

つまり、ひとつのことばに作者の思いを籠めるということです。1年次に学習した谷川俊太郎さんの『朝のリレー』の朝は命、リレーはつなぐという作者の思いが籠められていましたね。

時間をかけて話した甲斐があり、その生徒の心境は次のように変化しました。

『虹を渡って』の歌詞に意味がないなどと失礼かつ全体の和を乱すようなをしてしまいました。申し訳ありませんでした。

今は考えが変わりました。『虹』は『希望』を象徴しけつして物質としての『虹』という意味だけではないことが理解できました。

未来のぼくたちのあるべき姿やなりたい姿など、気持ちをこめて歌います。

学年のハーモニーを創るべく、協力します。

[連絡]

・明日、学年集会 教室の進路ファイルと筆記用具を持参すること。

虹を渡って 山崎 朋子

雨がやんだ空の果て
大きな虹がかかってる
その向こう側に見えるのは
まぶしいくらいの太陽

僕は傘をたたんで
空を見上げ歩いていく
今心の中に降る雨も明日にはやむだろう

涙はいつか笑顔にかわる
笑顔はまた涙を呼ぶ
人はそうして生きていくんだ
出会いと別れくり返して・・・

届け僕の思い出が
遠い君のもとへ
離れてても会えなくても
夢を探す旅を続ける

そんな時の彼方に光る未来がある
輝いてるその場所にも
虹が空にかかるだろう

心の中にあふれる思い
いつか伝えるその日まで
遠く長い道を進むんだ
きのうと今日を重ねながら・・・

虹が輝いている 軌跡えがくよう
あの空まであの雲まで
思いきり飛んでいきたい

強い想いは 必ずかなう日がくるから
その時まで歩き続けていく
未来を信じて

未来へ続く 七色の虹を渡ろう
※歌詞をしっかり覚えて、心をこめて
歌おう。
・20日(金)3組早朝清掃
6限 漢検

